

別紙様式

自己評価結果公表等状況報告書

令和8年 3月 10日

郡山市長 様

所在地 神奈川県大和市南林間二丁目 10
番 5 号 ベストライフジャパン
ビル 5 階
法人名株式会社 ベストライフジャパン
代表者 松本 徳行

1 事業所の状況

事業所の名称	ファミリー・キッズ郡山
事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 児童発達支援 <input checked="" type="checkbox"/> 放課後等デイサービス <input type="checkbox"/> 保育所等訪問支援
事業所の所在地	郡山市図景 1-12-1 パルファム 201 1F
事業所番号	0750200750
連絡先 (TEL)	024-983-6531
連絡先 (アドレス)	info.kidsko-riyama@b-l-j.co.jp
担当者名	鈴木 雅之

2 公表状況

公表日	令和8年 3月 10日
公表方法	<input checked="" type="checkbox"/> ホームページ URL (https://best-life-japan.com/family-kids/koriyama1/)
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所内に掲示
	<input type="checkbox"/> 利用者へ配布
	<input type="checkbox"/> その他 ()

※ 該当する公表方法すべてにチェックしてください

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	ファミリー・キッズ郡山		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 19日	～	令和8年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 31名	(回答者数)	27名
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 19日	～	令和8年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・一人一人の特性に応じて、丁寧な対応をしている事。また、子ども様子に応じて活動環境を整えている事。	・子供の興味関心に対して、提案をして活動している。また、長期休みの活動を子供の「やってみよう」「チャレンジしてみよう」内容を考えて取り入れている。子供の活動の様子を見て、教室配置を変更している。	・子供同士の会話を田伊勢にしていて、その中から情報を引き出す。また、発言が出来ない子供に対しては、保護者の殻の聞き取りを行う。
2	・小集団活動での(運動遊び・リトミック・ペープサート・余暇活動・生活と季節)の5つに分けて、週ごとに行っている事。	・マットの色分けをして、視覚的に支援している。5つの分野に分ける事で、時期に応じて活動内容を構成している事。また、学校の教育に合わせて、進み具合を子供に確認している事。	・マットが一枚で3・4人座って居るので、曜日に応じて個人マットを用意し、自分の場所とわかる様にしていきたい。
3	・個別課題への取り組みでは、個人のスキルや勉強に合わせて課題を設定している事。	・学習の理解度を確認して、復習をしている事。また、難易度と時間については、子供の様子を見て説明をしている事。 ・日常生活への課題も取り組んでいて、本人にチェックシートを行ってもらい、足りない所を支援する様になっている事。	・期間を設定し、目標を設定していく。そこに対してのアプローチできる様にしていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・支援時間が短い事。 ・児発の利用人数が少ない事。	・支援時間内に昼食をとる為、支援時間が短くなってしまふ。また、放デイの時間区分がある為、時間を長く設定出来ない。 ・子供の人数が少ない為、特定の人の関わりになってしまふ。他の人と接する事が難しい。 ・児発から放デイにそのまま利用する子が、多い為人数的に児発の空きがなくなってしまう事。	・短い時間で支援をする為、無駄な時間がない様に職員で連携をとり、密な時間になる様にしていく。 ・火曜日だけは、児発の人数確保と5名分設定をする。
2	・日中一時を取り入れてから放デイ時間が30分短くなった事で、小集団が参加できない子供が出てきている事。 ・支援級の子供の宿題の量が多くなってしまふ事。	・下校が遅い支援級や中学生がほとんど小集団に参加出来なくなってしまう事。 ・教室として課題を設定していますが、宿題が多くなってしまふと学習時間が長くなってしまふ為、未実施になってしまう事がある事。	・グループを二つに分けて、前半・後半で行える様に設定を試みる事。 ・平日で出来なかった分を長期休みや祝日に設定して取り組んで行きたいと思ひます。
3	・専門的な支援が出来ているか？と思ふ事。	・課題を設定して毎回取り組んではいますが、専門家が居ない為、経験者や情報を頼りになってしまひている事。	・療法士が居ない為、保護者さんの願ひにどこまで寄り添えるかが、疑問になる事。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

(児童発達支援)

事業所名 ファミリー・キッズ郡山

公表日 令和8年 3月 10日

利用児童数 7名

回収数 7名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7					
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	7					
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	7					
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7					
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7					
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	4			3		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5			2		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	7					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7					
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7					
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4			3		
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7				
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6		1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6		1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	7				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7			・職員の手紙で楽しく動いていて、週一回の利用をとっても楽しみにしています。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	7				

公表

事業所における自己評価結果

(児童発達支援)

事業所名		公表日				
ファミリー・キッズ郡山		令和8年 3月 10日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。					
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。					・構造上、傾斜があり、バリアフリーではないと思う。玄関先の段差。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。					
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。					
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。					・振り返り等がうまく出来ていない場面もある。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。					
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。					
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。					
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。					
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。					
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。					
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。					
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。					・職員の支援内容にまばらさを感じる時がある。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。					・ツールを活用できる様に検討していく。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。					・具体的な支援が設定されているものを地域支援・連携のねらい、内容を把握できていないので、改善したい。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。					・相談して行っている。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。					

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。				
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。				
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。				
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。				
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。				
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。				
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。				・管理者以外の連携は難しいままとなっているので、改善したい。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				・児童発達支援以外の他者との連携が行える様に改善していく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。				・移行の際の相互理解に関心を持っていく。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				・地域の児童発達支援センターとの連携、スーパーアドバイザーの助言を受ける機会を設けていく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。				・交流の機会を持つのは難しい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。				
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。				・家族への報告のみとなっていて、研修までは難しいが、状況提供は行っていけそうと感じる。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。				
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。				
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。				
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。				

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。				・父母会・保護者会は未実施となっているが、機会があれば実施も検討したい。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。				
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。				・ホームページで発信している。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。				
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。				
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。				・地域へ対しての発信を考える必要があるが、なかなか難しい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。				・理解不十分である為、定期的なすり合わせが必要と思う。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。				
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。				
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。				
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。				
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。				
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。				
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。				
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。				・身体拘束の無いように対応を考えていく。	

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

(放課後等デイサービス)

事業所名 ファミリー・キッズ郡山

公表日 令和8年 3月 10日

利用児童数 24名

回収数 20名

	チェック項目	はい				ご意見		ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない			
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19		1				
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	17	2		1			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19			1			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18	2					
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	1					
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	1		1			
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20						
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20						
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	1					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19			1			
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	5	1	6			
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20						
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20						
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	5		8			
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	20						
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19			1			
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19			1			
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	3	5	7	・利用している施設では、保護者会がない	・現在開催は予定していない。	
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20							

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	20				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	2		4	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18			2	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18			2	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	1			
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	20				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	19	1			
	29	事業所の支援に満足していますか。	19	1		・いつも寄り添った支援をしていただき、親子で助かっています。ありがとうございます。	・継続していきたいと思います。

公表

事業所における自己評価結果

(放課後等サービス)

事業所名		公表日			
ファミリー・キッズ郡山		令和8年 3月 10日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5			
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2		・構造上、傾斜があり、バリアフリーではないと思う。玄関先の段差。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5			
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5			
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	1		・振り返り等がうまく出来ていない場面もある。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5			
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5			
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5			
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	1		・職員の支援内容にまばらさを感じる時がある。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	2		・ツールを活用できる様に検討していく。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	1		・具体的な支援が設定されているものを地域支援・連携のねらい、内容を把握できていないので、改善したい。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5			・相談して行っている。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	1		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	1		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	2		・管理者以外の連携は難しいままとなっているので、改善したい。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2		・児発管以外の他者との連携が行える様に改善していく。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	2		・移行の際の相互理解に関心を持っていく。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイザーや助言等を受ける機会を設けているか。	3	2		・地域の児童発達支援センターとの連携、スーパーアドバイザーの助言を受ける機会を設けていく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		5		・交流の機会を持つのは難しい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4		・家族への報告のみとなっていて、研修までは難しいが、状況提供は行っていけそうと感じる。
4	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5		・父母会・保護者会は未実施となっているが、機会があれば実施も検討したい。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5			・ホームページで発信している。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	1		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		・地域へ対しての発信を考える必要があるが、なかなか難しい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5			・理解不十分である為、定期的なすり合わせが必要と思う。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5			
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	2		・身体拘束の無いように対応を考えていく。	

